

プロポリスをCDサプリに

シクロケムが NZ社と開発 今年中央発売へ

神経線維腫症に効果

環状オリゴ糖シクロケム(シクロキエストリン(CD)包接化製品でトッブシエアのシクロケム(本社・神戸市、寺尾啓二社長)は、世界的に希少難病の一つに挙げられている、神経線維腫症(NF)治療に顕著な効

果で知られるプロポリスをCD加工(包接)したサプリメントをこのほど開発、今年中央にも共同開発先であるニューシーランドのマヌカヘルス社と同時発売する。

NFは、遺伝性の希少難病で、進行すると特殊キナーゼ(酵素)PAKの異常活性化で腫瘍に転化し、その約1割は悪性腫瘍となる。現在は外科手術、放射線治療が唯一だが、転移性が高く、局所治療は効果が薄い。また腫瘍の成長個所が脳や脊髄であるため、既存療法では神経損傷をともなうことが多い。このため、かねてから化学療法による根治を求め、その約1割は悪性腫瘍に転化し、その約1割は悪性腫瘍となる。

起源植物によって有効成分はまったく異なるが、なかでも良性・悪性腫瘍の引き金となる特殊キナーゼ(酵素)PAKを遮断するCAPE(カフェイン誘導体)は、プロポリスに含有する抗腫瘍性物質として注目されている。こうしたなか、米国の国立衛生研究所やカリフォルニア大学など、

海外研究機関で長年がん研究を続けてきた丸田浩氏(現「NF CURE Japan」理事、薬学博士)が、PAK遮断薬探索の過程で、マヌカヘルス社のプロポリス「バイオ30」に最もCAPE含有量が多く、効果があつたことを発見した。今回、シクロケム、マヌカヘルス社共同で、CDを用いてプロポリスの機能性をさらに高めたサプリメントを開発し、販売の運びとなった。

NFは、3000〜5000人に1人罹患するとされ、国内で約3万人の患者がいるという。ただ希少難病のため、コスト的に見合わないとして大手製薬メーカーのアプローチは現在のところない。このため近く投入するプロポリスのCD包接加工サプリメントに対する期待は高い。

シクロケムは、マヌカヘルス社の総代理店。これまで、抗菌活性成分であるMGO(メチルグリオキサイド)を含有する高級蜂蜜マヌカハニーのCD包接体の開発などを手掛けている。同社は今後もマヌカヘルス社との連携を強め、サプリメント開発を推進する方針。